

市

民

の

声



川辺町 清水

西迫 幸一

住民主役のまちづくり

「ジャア、ジャア、ジャア」川の中は下半身を入れ、消防ホースで勢いよく橋の欄干を洗浄する「ふるさと川辺会」の姿がありました。年の瀬の寒い12月中旬、岩屋公園入口の朱色の橋の水洗い・雑巾掛け、毎年恒例の姿は通りゆく人々の目にはどのように映ったであろうか。

会員相互扶助の精神に基づき、お互いの親睦と川辺町の発展向上に寄与しようと発足して20年足らず。90名からなる有志の皆さんの会費等を原資

として、桜の植栽及び下草払い等の実施、ホタル繁殖事業、EM菌による河川浄化活動、関東、関西、鹿児島市の各ふるさと会との親睦交流会等を通じて、南九州市の現状報告等や地域活動に取り組んでおります。

川辺には他にもたくさん活動している団体もある、もちろん穎娃町、知覧町でも盛んに活動している団体も見たり聞いたりしています。三町の多種多様な団体同士の横の交流でまちづくりが出来ればと思っております。

議会の各常任委員会でも、いろいろな形でまちづくりのテーマが提案され各事業で奔走していることとは思いますが、看板だけのきれいなまちづくりでなく、各団体にも顔を出し、市民と共に汗を流して住民主役のまちづくりを！



知覧町 西元

尾ノ上 聖子

子どもを守るための行政の役割と地域づくり

私は知覧町で生まれ、現在二人の子どもと両親と暮らしております。

現代の日本では、いじめや児童虐待、子どもを狙った犯罪が増える中で親あるいは家族だけで子どもを守ることが難しくなってきました。それが原因で、子どもを産み育てる自信がなく少子高齢化がさらに深刻になる可能性もあります。子どもが健全に成長できなくては、国の将来も期待できなくなります。子どもを安全で安心して育てられるようにするために

は、社会全体が関心を持ち解決策を考え、行政は地域社会全体へ働きかける次のような取り組みを行っていただけたらと思います。

まず一つ目は、地域との関わりが希薄化し子どもや家庭が孤立することがないよう地域の人々との日頃からの付き合いを密にし、いつでも相談できる場を与えていただけたらと思います。

二つ目は、行政による地域の見回りやパトロール活動を実施し、子どもを狙った犯罪について情報を共有し、学校や住民、行政と一体となって問題に取り組みめるように協力いただけたらと思います。



議会だより第28号の訂正とお詫び

11月5日発行の南九州市議会だより第28号12ページ竹迫議員の質問において「4ヘクタール」を「1ヘクタール」と誤って記載しておりました。訂正してお詫びいたします。

議員の辞職

峯古 勝範 議員

平成26年11月11日付

田畑 浩一郎 議員

平成26年11月26日付

編集後記

12月定例会においてノーベル物理学賞を受賞した赤崎勇名城大学終身教授に、南九州市になって初めてとなる名誉市民の称号を贈ることを全会一致で可決しました。

赤崎勇氏が知覧町霜出でお生まれになって、幼少期を過ごされたことを後で知り、私も霜出に生まれ60年近く経つが記憶にないことから、1930年代のことだと推測されます。

地元有志の方が赤崎氏生誕の地の記念碑を建てられたが、見るたびに身の引き締まる思いがします。議会人として初心に帰り、市民の声を市政に確実に届けたい。

(松久保)

広報編集委員会

委員長 西 次雄
副委員長 吉永 賢三
委員 塗木 弘幸
松久保正毅
蔵元 慎一
内園知恵子